

検査の準備、事前の自主点検（2025.8.4実施）

日本小型船舶検査機構が公表している不具合事例を参考に、点検

第一位の不具合事例（10％） 「救命浮環や救命胴衣の表示不備」

救命浮環は船名、船舶番号、船籍港名の記入があり、OKです。救命胴衣は桜マークの認定品であることを確認出来ましたが、「船名、船舶番号または船舶所有者名」を書いていませんでしたので、船名と船舶番号および船籍港名を記入しました。

第二位の不具合事例（5％） 「最大搭載人員の表示及び救命胴衣格納場所の表示」

最大搭載人員 4 名のステッカー表示を確認。

第三位（4％）の「航海用具の不足」

アンカー＆アンカーロープ3本、消火用バケツ、笛、黒球、CL7に装備している地図NEWPECが国土交通省から小型船舶が備えるべき参考図の指定を受けていることを確認（海図に代わるもの）、信号紅炎を確認。また、以前の検査時に聞かれた止水栓の数も確認。双眼鏡、ラジオ、レーダー反射器は義務外用品ですが任意で設置済みを確認。

第四位（4％）の「信号類の有効期限切れ」

信号紅炎の有効期限2027年1月を確認。

第五位（4％）の「救命設備の数量不足」

救命浮環 1 個、救命胴衣は最大搭載人員の 4 人分、及び笛 1 個を確認

第六位（3%）の「機関不良」

先般エンジンオイルとギヤオイルを交換した時に良好であることを確認済み

第七位の「消防設備の数量不足」

赤バケツ 1 個を確認。

その他「航海灯の不点灯他以前の検査で聞かれた事」

航海灯、停泊灯、デッキライト、サーチライトの点灯を確認。

私の船は C L 7 を装備していますので、エンジン関係のメーター類がありません。 多

分また聞かれるだろうと思いますので、C L 7 の作動も確認